



なんでも良いものなの。



なんでも良いというわけではないんだ。さっきも言ったけど、みんなが「大切にしているもの」として認めるものでなければならないから、ある程度時間がたっていること、それから、どのぐらいの範囲の人たちにとっての「大切にしているもの」なのかも重要だね。ふつうは、区市町村単位、都道府県単位、そして日本全体（国）といった範囲ごとにそれぞれ決め方や種類を定めて、それぞれ区市町村が認める文化財、都道府県が認める文化財、国が認める文化財というぐあいにするんだ。これらを**指定文化財**というんだ。



そうすると、国の指定の方が、町の指定よりすごいんだ。



すべてがそうとは限らないよ。全国の人にとってはあまり関係ない（貴重でない）ものでも、この地域にとってはなにごとにもかえられないものもあるからね。



範囲のほかに種類もちがうの。



文化財は生活そのものの「大切にしているもの」だから、いろんな種類があるんだ。だけどそれではどういう理由で大切にしている（貴重）のかわからないから、大体は、**有形文化財**、**無形文化財**、**民俗文化財**、**記念物**などと分けているんだ。

有形文化財というのは、形がある文化財なので、立派で歴史のあるお寺などの建造物、有名な絵画や歴史的に貴重な古い文書（古文書）、時代を代表するすぐれた彫刻などの美術工芸品などがあるんだ。



京都や奈良にある有名なお寺とか、博物館でかざってあるものだね。



無形文化財というのは、形のないものだから、演劇とか音楽、工芸技術とかだよ。落語とかもだよ。これらは、形がないから、そうした技術を持った人（人たち）が認定されるんだ。



人間国宝とかだね。



民俗文化財というのは、お祭りとか信仰

に関するものとか年中行事などだよ。年中行事というのは、お正月とかおぼん、誕生日や七五三など、いまの私たちの生活に深く関係しているものだよ。



お祭りもそうなんだ。



民俗文化財には、お祭りなどのおどりや、歌などの、形の無いものと（無形民俗文化財）、衣装や太鼓といった道具などの形のある有形民俗文化財とがあるんだ。

そして、記念物というのは、史跡、名勝、天然記念物と3つに分類されているんだ。史跡は、古墳やお城などの古い時代につくられたものや重要な出来事があった所だよ。名勝とは、たとえば有名な滝や溪谷など、昔から多くの人たちがすばらしいと思う風景などだよ。そして、天然記念物は貴重な動物や大木などだよ。



奈良の鹿とか、日光の華厳の滝なんかだね。東京にもいろいろなものがあるの。



東京にもいっぱいあるよ。江戸城や当時の大名の庭園として有名な小石川後楽園、世田谷の等々力溪谷や国分寺の真姿の池湧水群などが史跡や名勝に指定されているよ。

芝東照宮のイチョウとか小笠原南島のカルスト地形などの貴重な天然記念物もあるんだ。

有形文化財や民俗文化財もたくさん指定されているよ。



僕はほとんど知らないや。



これからお父さんやお母さんと一緒にいろいろな文化財を見ると良いよ。まもるくんにとっても、そして未来のひとたちにとっても重要なものだから。今後もみんなで大切にまもっていく必要があるよね。



うん、もっといろいろなところを見ていくことにするよ。おじさんどうもありがとう。



まもるくん



たけしおじさん